

(公社)日本産業退職者協会広島支部

〒730-0036 広島市中区袋町6番36号 広島市まちづくり市民交流プラザ内 BOX1

日退協ホームページアドレス <https://jariphiroshima.sakura.ne.jp/>

ひろしま男子駅伝と県人会



(公社)日本産業退職者協会
広島支部 幹事

河野次郎

全国都道府県対抗男子駅伝が広島で平成8年1月に始まりました。第1回大会の優勝は広島県チームであったことを皆さん覚えておられるでしょう。

駅伝大会の開催を機にふるさと応援団の結成を中国新聞社から勧められ、応援幟旗の提供もあって全国の都道府県の県人会の結成が進みました。全国の都道府県の県人会が全部があるのは東京、京都(高校駅伝大会、都道府県対抗女子駅伝大会の開催地)と広島だけであります。中国新聞社の肝入りで駅伝広場に各県人会のふるさと応援団のテントが出来、ふるさとの物産や郷土料理を販売できるようになって、駅伝の応援と併せて大変賑うようになりました。

私のふるさと宮崎県も駅伝を機に宮崎県出身者と宮崎を愛する人が集まって、平成10年に広島宮崎県人会を結成しました。手前みそになりますが、広島宮崎県人会のテントでは、日向地鶏の炭火焼きと焼酎を販売しており、煙と匂いで人が集まり大変人気があります。

駅伝前々日からの選手団の出迎え、選手の走るコースの試走の手伝い、駅伝当日の応援、駅伝終了後の選手を囲む会等、駅伝ウィークは県人会のビッグイベントであります。各県人会もそれぞれのやり方で駅伝大会を盛り上げております。

平成10年に北海道道産子会と九州8県の県人会で「北海道・九州圏県人会」が作られ、日本の北と南で連合が出来ました。年2回の懇親会、ビアガーデン、ゴルフ大会等で交流しております。

駅伝大会の効能として、もう一つは、広島市内

の特定の小学校の5～6年生がクラス単位で分担して全国47都道府県の代表チームの応援幟旗を作って応援しており、各クラスがそれぞれ担当する都道府県のことを調べて幟旗を作るので社会科の勉強になっております。

コロナの影響も少なくなりましたので来年1月21日に開催される駅伝大会が、盛大に行われることを期待しましょう。

(エスキーツennis同好会 代表世話人)

2023年8月二木会ショートスピーチ抄録

濱田 寛

今年(令和5年)の8月24日の二木会で講演された小田芳生さんがNHKの「お好みワイドひろしま」で紹介されました。NHKが紹介している文章から一部抜粋しています。

旧陸軍被服廠の一部を平和美術館にしてほしい。講演を行ったのは、画家・丸木位里の甥(小田芳生)で、丸木位里・俊夫妻・位里の母丸木スマ・位里の妹大道あやの作品を市内の自宅で多く保管し、自身の所有している絵画をお貸ししたい、と述べられる小田芳生さん。小田芳生さんは、「広島市が所有している丸木夫妻の原爆の図の作品を始め、



原爆や戦争に関する国内外の絵画や文学を展示する施設にしたい。」そのために活動をしています。

現在ある平和記念資料館は実際あった事実を訴えています。「旧陸軍被服廠は人間の五感に訴え美術を通じて考える施設とすることによってより深く理解する事が出来ると思います。」

講演で小田芳生さんは、丸木位里夫妻が広島に美術館を作りたいという思いを抱いていたことを紹介し、活動への理解を呼びかけました。

「旧陸軍被服支廠には、過去の悲慘な歴史と合わせてより広い角度で平和を考える場が実現する事を望みます。」

現存する最大規模の被爆建物である旧陸軍被服支廠をめぐることは、県が、国の重要文化財の指定を求め、国と県、それに広島市でつくる研究会が活用策を検討しています。

(二木会副代表)

「写画一る会」の今

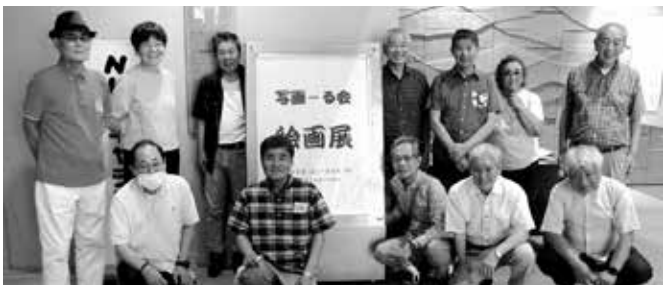
瀧口 文朗

コロナ禍を乗り切ったかのような感の令和5年。長い長いトンネルをやっと抜け出て、絵画や工芸など芸術関係の催しの便りを聞く機会が多くなり、絵画展も次々と開催されるようになりました。

私たち「写画一る会」(しゃがーるかいは)は在籍者19名、第4土曜日の月1回、ひと・まちプラザ南棟で、季節の花、果物、野菜などをモチーフに静物画作成を中心に水彩画や油絵など学び、技術向上に取り組んでいます。例会ではお互いの作品鑑賞を通じて能力を高めあっています。また、例会終了後には会員間の歓談する機会も徐々に増え、飲食を共にするなど交流を深めています。

多士済々のメンバーが取り組んでいる絵画のジャンルも水彩画・油絵のほか、パステル、クレパス、水墨画など多岐にわたっています。

日頃鍛錬した作品を持ち寄って展示する機会が与えられ、近時では6月NHK広島2Fギャ



ラリー、9月広島市高齢者作品展「達人たちの夢2023」に発表しました。更に作品の公募展への応募など会以外の絵画展で発表する会員も多く、経験技能も様々ですが和気藹藹の「写画一る会」です。

(写画一る会 副代表世話人)

播磨の小京都を訪ねて

来海谷 富朗

前代未聞の猛暑の日々も和らぎ始めた頃、歴史探訪会は兵庫県たつの市を訪問しました。天候にも恵まれ、午前中は旧龍野藩の龍野城、聚遠亭・楽庵(茶室)や藩主住居の脇坂屋敷周辺などを散策しました。江戸時代の町割りが多く残存する白壁の土堀や町屋造りが残るもので、路地から帯刀し



た武士が現れるのではと妄想すらする情景でした。ちなみに、「寅次郎夕焼け小焼け」のロケ地であることも皆さんのご記憶にあると思います。その後、揖保乃糸資料館そうめんの里において昼食です。毎回豪華なメニューで、今回も期待どおりのそうめん二段お重(お土産としてそうめんもいただきました)。午前中の疲れもすっかり回復しました。

午後は、廻船問屋として活躍した豪商の大規模町屋の室津海駅館を見学したあと、当時の茶屋や本陣跡が散在する街並みなどを散策しました。参勤交代の宿場町として日本最大級の6軒もの本陣があり「室津6軒」と称された当時の繁栄に思いを馳せました。その後、平清盛が厳島詣の際に立ち寄った賀茂神社に参拝し、神秘的な社殿と播磨灘の展望を満喫しました。

最後に、51名もの参加者のお世話をいただいた世話人の皆様には改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。

(会員)

旅は道連れ世は情け

澤原 正鋼

「旅を楽しむ会」総勢39名、1泊2日の奈良県と伊勢の旅です。

9月12日広島駅8時6分のぞみ号で新大阪駅へ。バスで奈良県に入り、東大寺へ。私の知識では東大寺は大仏様でしたが、東大寺の敷地は東京ドームの約3.5倍。法華堂・戒壇院千手堂・東大寺ミュージアム等沢山の建物があり、1泊2日では拝観でき

ないようです。大仏殿を参拝して法隆寺へ。法隆寺は聖徳太子が造立された寺で、五重塔・金堂・大宝蔵院等沢山の建物があり、それぞれ参拝しました。

ホテルは伊勢湾の海沿いのホテル。楽しい宴会の時間です。食欲と〇欲が満たされれば人生は80%幸福だそうです。食事はどの料理も美味しく、特にお造りの盛り方は豪華でした。恒例の二次会も盛況でした。

2日目は伊勢神宮です。外宮(豊受大御神)は左側通行・内宮(天照大御神)は右側通行で参拝し、「おかげ横丁」で各々食事を楽しみました。

最後の宴会は新幹線の中。酒・焼酎で団体での宴も悪くはありません。

今回2日間で2万歩を歩き、その中で90歳の方が二人参加され、二人共完歩です。全員無事に広



島駅で解散しました。

「旅を楽しむ会」は日退協の修学旅行だと捉え、次回の参加をお待ちしています。

(旅を楽しむ会 世話人)

||||| 楽しい笑いの川柳の会 |||||

松井 哲夫

代表の信象さんの司会で、「がんす川柳会」は13名の川柳の読み上げで始まった。順番に句を2回読みした。

「生きてるか朝のあいさつ古い二人」素浪人さん
これが一番大切な事だねと、皆が同感して頷いた。
「社会の窓開いていますと耳元で」ハチロウさん
電車の中で、隣の人が囁いてくれた。よくあることだよ。と福朗さんが言って、皆で爆笑した。
「出るところでたらたちまち借りた猫」はじめさん
「寄り合って寿命をのばす福笑い」壽賀子さん
「言い訳をするかしないか深呼吸」絹代さん
「迷信と言うがやっぱり気にかかる」保さん
「迷うだけ迷って始めの道に行く」福朗さん
「犬が乗り誰の散歩かベーカー」のり子
「望むならピンピンコロリ眠るよに」章さん

「未練から断捨離できず来年に」信象さん
「スリッパの音の気配で機嫌読む」博水さん
「人生は消したいことが多すぎる」土論さん
「無理せずに生きていこうと無理をする」真齋さん



それぞれの句にお互いが感想を述べて、作作者が説明をするようにして、進行する。

毎月1回、「課題」を順番で出して、課題句を3句と自由句を1句あらかじめ代表宛にファックスで提出する。一覧にした句表が送られてきて、各自課題句から7句、自由句から3句の投票番号を代表宛に返信する。

例会当日には、袋町の市民交流プラザの会議室に集まり、お互いに愉快地に進行している。

参加希望の方があればぜひお申込み頂きたいと思います。

(会員)

||||| 竹とんぼクラブ |||||

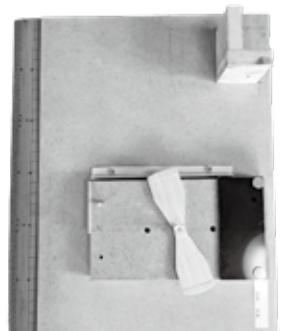
清水 英男

竹とんぼクラブが活動を始めました。

谷口支部長が、本部役員会でSDGsの取り組みとしての竹とんぼクラブの活動状況を聞かれ、広島支部でも実行したいとの強い思いが、6月の支部総会へ本部より末松常任理事の出席となり、竹とんぼのデモも行われその性能のすばらしさを見ることができました。

6月21日クラブの賛同者11人(現在16人)が中央公民館に集まり、永山技術顧問の指導のもと活動がスタートし、9月まで4回開催されました。定例開催日は第2日曜日、場所は広島市中央公民館です。

初級者用竹とんぼ作成のための作業台20台の作成が終わりまりましたので、これから各自が配布された竹材をマニュアルにもとづき研削などを行っています。その中で9月の終



わりに東京の竹とんぼクラブより、広島支部の活動を手助けしようと加工済の材料を多数送っていただきました。材料の加工に多少手間取っていましたが、大助かりです。竹とんぼの完成が近づきました。

会員は20人を目標としていますので、ぜひ参加し、お孫さん、子供たちの喜ぶ顔を一緒に見ませんか。

(竹とんぼクラブ 副代表世話人)

||||| 劇場映画を楽しむ会 |||||

栗屋 悦子

私にとって心の癒しは何だろうとふと思っていたところ、谷口支部長から映画を見る会を立ち上げるとのお話があった。山登りの趣味はあるがいつまでも体力が持たない。少し変わった事がしたい、目新しい事がしたい、そうだこれだ！すぐに入会した。映画は何年ぶりだろうか？大物俳優の高倉健さんの大ファンで、鉄道員(ぼっぼや)、ホテル、幸福の黄色いハンカチ、八甲田山… 無我夢中になっていた頃を思い出す。いつの間にかドラマの中で自分が主人公になっているから映画は面白い。後に「映画を見る会」から「劇場映画を楽しむ会」に変更になり13人の人達が集まった。

久しぶりに行く映画館は随分変わっていた。何と座り心地の良い椅子だろうか。まさに癒しの場所だ。暗くなると眠ってしまうのではないかと心配したが、スケールの大きさ、音響に圧倒され、



眠るどころではない。映画が終わると館内の片隅の小さな喫茶店でお茶を飲みながら感想を述べ合う。人それぞれとらえ方、思いが違う。

会が始まって一番印象に残る第2回の「沖縄戦の図」。原爆の図で知られる丸木夫妻が沖縄戦争の記憶を残そうと魂を込めて描かれた絵14枚をドキュメンタリーとしてスクリーンに収めた。丸木夫妻の生き様を感じ胸がキュンとなった。何時までも心に残る映画で、沖縄戦争に関心を持たずにいられない。

人生の後半が面白いと聞くが、今、私がそれを実践している。ボケてる暇などない。次回の劇場映画が待ち遠しい。

(会員)

広報の窓

行事・同好会参加人員数 令和5年7月～令和5年10月

()は家族会員再掲

◎世話人交流会	44人	(0人)
◎幹事会	57人	(0人)
◎新入会員の集い	37人	(0人)
◎運営委員会	47人	(0人)
◎二木会	332人	(9人)
◎留学生交流会(会員)	9人	(0人)
留学生・他	12人	(0人)
◎達人たちの夢展	60人	(0人)
◎ゴルフ同好会	45人	(2人)
◎テニス同好会	126人	(5人)
◎社会見学会	39人	(0人)
◎木楽会	12人	(0人)
◎朱樹会	20人	(1人)
◎歴者探訪会	51人	(7人)
◎園芸・盆栽同好会	13人	(0人)
◎囲碁同好会	122人	(0人)
◎写真を楽しむ会	35人	(0人)
◎旅を楽しむ会	39人	(0人)
◎謡を嗜む会	8人	(0人)
◎がんす川柳会	48人	(4人)
◎山を歩く会	70人	(8人)
◎写画一る会	36人	(4人)
◎男性料理教室	57人	(0人)
◎PCDCを楽しむ会	73人	(0人)
◎PCDC・写真共催写真展	13人	(0人)
◎陶芸同好会	117人	(0人)
◎詩吟を嗜む会	50人	(2人)
◎卓球クラブ	204人	(26人)
◎女性バラエティ	18人	(5人)
◎Gゴルフを楽しむ会	30人	(2人)
◎エスキーテニス	95人	(0人)
◎演歌ミニ道場	59人	(0人)
◎カラオケ愛好会	137人	(1人)
◎だれでも出来るパンづくり2	43人	(0人)
◎竹とんぼクラブ	11人	(1人)
◎劇場映画を楽しむ会	12人	(2人)
◎切手収集 累計3002件		
◎ベルマーク(インクCJ含む)	632件	
幹事会	7月18日、10月26日	世話人交流会 10月26日
新入会員の集い	10月2日	
運営委員会	7月6日、9月7日、10月5日	

●●●● 編集後記 ●●●●

この暑さはいつまで続くのかと恨めしく空を仰ぎ、このまま秋は来ないのではあるまいかと思っ

ていましたが、やっと秋が近づく気配を感じます。コロナ禍で自粛していた事業・同好会活動も再開され、さらに新たな4つの同好会が加わり、それぞれ精力的に活動を展開しておられます。そして、イキイキとした活動報告がマチュリティの紙面を飾ります。先日は「新入会員の集い」が開催され、16名のフレッシュな会員が、参加する同好会を拵げていこうと思っていると抱負を述べられました。これらの方々の新鮮な参加報告が紙面に載る日を心待ちにしています。

(H・Y)